

丸山湿原群保全の会会報

(第 156 号)

発行日：2020 年 (R2) 7 月 15 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com



梅雨も終盤を迎え各地に大きな被害を出しています。被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。身近にも水路被害などが起こっています。

線状降水帯という言葉も一般的になり、豪雨のメカニズムがよく解るようになってきました。解ってもどうしようもないものですが。スーパーコンピューター「富嶽」でどれくらい先まで予報が可能になるのでしょうか？時代は「減災」。自然をコントロールするのは無理なようです。どうやり過ごすかが知恵の絞りどころなのでしょう。

コロナも第 2 波か？こちらはどうやり過ごすか知恵の間われるところです。

(今住 7 月 14 日作成)

定期活動

★6 月 28 日 (日) 定期活動 9 名で活動 ササ刈り 観察 午後総会 (書面議決) 8 名出席

コロナによる県外移動自粛も解除になり、大阪府からも気兼ねなく参加できるようになりました。そうです、小学生会員が戻ってきたのです。コロナ自粛で親子共々ストレスが溜まっていたようでかなり気合が入っていました。作業日ということでササ刈りを少々。



さっそく監督の指示が・・・



故障中の刈り払い機がむなしくは以前にも紹介。(バックナンバー120号) 面構えのいいやつです。カノコガはお洒落な柄。「鹿の子」模様なんでしょう。バンビ柄ね。しかも白い部分は透けている。ぱっと見ると蛾には見えない不思議生物。しか

小学生はヘルメットをかぶり完全装備。しかもハンドマイクを手にし、監督状態です。手を抜くとビシビシ指導が入りそうです。手作業と刈り払い機での作業。(一部ノコギリ) ところが 1 台の刈り払い機が不調。エンジンが吹きあがりません。結局整備 (キャブレター?) が必要で刈り払い機は 1 台の稼働となりました。

作業は至って地味。駐車場からポストまでの道際のササ処理です。またまた短時間の作業ではかどらず、何をしたのかよく分からない感じですがこんなんでしょう。(あかんやろか?) 人数が少なく手作業がメインとなるとこんなものでしょう。

監督は? というと。作業中にお母さんが見つけた虫の観察。ニホントビナナフシ (日本飛七節) やカノコガ (鹿の子蛾) などを見せてくれます。ニホントビナナフシ



カノコガ生命の営み

し意外にもどこにでもいるようです。食草がタンポポとかクローバーとか割となんでも食べるように繁殖場所を選ばない？でも印象に残る蛾です。嫌いな人にはこれも気持ち悪いんでしょうね。ま〜そう言わずよく見てください。ファッションの参考になりそうですよ！

おっと作業。監督が暇そうです。みんながまじめにやりすぎるから指導ができない？出来るなら



監督、腰が入ってませんよ！

刈り払い機で作業がしてみたいようです。自分の子でうちの田んぼなら「やりなさい、よく言った！OK！OK！」と言うところですが…そう言う訳にもいかず。「これはちょっと…」。

ふと見るとノコギリを持っているではあ〜りませんか！ちょうど手ごろな位置に枯れた立木が。伐りましょう伐りましょう！会員(里山大学OB)が「受け口」の作り方を伝授。切り場所はちょっと高いがいいでしょう。目の細かいノコギリで少々苦勞していましたが、受け口とはちょっと違う方向に傾いていきました。

監督としてはハンドマイクで「倒れ〜るぞ〜」と叫びたかったようですが、伐る人と叫ぶ人が同じでは無理があったようです。

枯れ木と言っても直径 15 cm ぐらいの木。危険も伴います。細心の注意を払いながらの作業です。そして、見守る中「バッサン」とたおれるはずが…他の木にかかってしまいました。周りの養生と、「受け口」の位置決めの大切さを実感した作業でした。かかった木については見守る会員が処理。玉切りまですませて終了です。これからスキルを磨いていってください、監督！監督の話ばかりですいません。小学4年生、楽しんで！



他の木にかかり倒れませんか 残念！

今回も早めに切り上げ湿原観察へ。カキラン(柿蘭)モウセンゴケ(毛氈苔)の開花最盛期か？



カキラン

第3 湿原入ってすぐの木道からカキラン・モウセンゴケを沢山見ることができます。特にカキランは増加中。保全のおかげ？ということにしておきましょう。各地で増えているという情報もありますが…「新しい気候」にあっているのかも。

第3湿原といえば面白いニュースが。長い間観察を続けていますが、なぜかこの湿原ではハッチョウトンボ(八丁蜻蛉)が見られませんでした。第1湿原のすぐ隣なのに。なぜか…。分水界が壁になっているように。湿原の条件が違うのかな、などと「ず〜っと」考えていました。ところが今回発見しました。たまたま風に運ばれて来ただけなのか、「こっちの水もあ〜まいぞ」となったのか、来年以降が楽しみです。他の人(会員以外)から「前からおるで！」と言われたらごめんなさい。精進が足りんということです。頑張ります！



第3湿原のハッチョウトンボ♀



両方頭？シロシタホタルガ

前回幼虫を紹介したシロシタホタルガ(白下蛍蛾)が交尾中でした。ホタルガとよく似ていてなかなか見分けがつかないのですが、よくわかる姿に遭遇。白下(シ



裏返った翅から後翅の白が分かる

ちなみにホタルに似てるからホタルガですが、実はホタルに擬態しているとか。知ってる人は知っている、ホタルにも毒が…。これほんと。匂い程度ですが。臭っ？あんまり気にならない程度です。ホタルの幼虫には結構強い毒があるとか？知らんけど…

午後の総会は「書面議決」済み。（全議案賛成表決 27 名・表決（返信）なし 3 名）。



総会 書面提案の検討中

ですが、楽しみましょう。ご協力お願いします。

書面提案があった保険・活動表示を議論。結果、保険については年会費の中から 500 円を充当。社協のボランティア保険に全会員(30 名)加入しました。活動表示については近日中に発表予定。セミナーや一般参加調査はコロナの状況を見ながら前向きに判断していくことになりました。ガイド研修ツアーについてもバスの状況調査中です。

西谷小学校の環境学習は今年度は無理かと思っていたのですが、2学期からの実施連絡が来ています。春にできなかったのは残念

★7月11日(土) 定期活動 大雨後 2名 定期基礎調査(警報発令中?)

目的	市内	市外
丸山	49	30
ハイキング	12	40
散歩・登山	25	29

来場者数 計 185 人
(竹筒ポスト人数)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度 (EC)	PH
入口	10:00	26.4℃		
第3湿原	10:27	【20.2℃】	31.9 μS/cm	6.9
視点場	10:39	29.7℃	23.1 μS/cm	6.5
第1湿原	10:53	【23.8℃】	27.8 μS/cm	6.7
第2湿原	11:22	【22.1℃】	32.4 μS/cm	6.6

数日来的大雨、この日も集合時間直前まで雨が降っていました。状況によっては中止と考えていたのですが、空が明るくなり薄日も差すようになってきました。(不安定ですが…) 会員も 1 人来られたので、しゅっぱーつ!

まず入口近くで迎えてくれたのはキヌガサタケ(衣笠茸)。「キノコの女王」と呼ばれるそう。高級食材です。女王ですがう〇こ臭い!今日は湿気でしおれたレースのドレスをまとい、雨のおかげか臭い匂いはあまりしません。スッポンタケの仲間。タケササ類の近くに生えるようです。中華・フレンチ・イタリアンでは定番とか。でも高級だからか食べたことありません。衣笠は絹を張った柄の長い傘だそうです。昔、貴人



雨に濡れドレスが... キヌガサタケ

の後ろからさしかけたらしい。天蓋とも。天蓋ベッド。なるほど納得。女王もそこから？味？

数日前に時間雨量50mm前後を記録していたので「大水か？」とと思っていましたが、至って穏やか。水路になっている歩道は数か所。細い立木が倒れている場所もありましたが「荒れた」様子は特に見当たりません。



歩道の倒木

ノコギリを忘れて歩道の本を撤去できませんでしたが、何とか通れました。(翌日撤去)

データを見ると、「雨水」そのもののような感じです。水が常に流れている状態。夏の水のない時期と比べるとECは5分の1ぐらいでしょうか。貧栄養そのもの？水だけで判断できるかは???です。

花はちょうど入れ替わりの時期。

あまり目立つ花はなし。コバノトンボソウ(小葉の蜻蛉草)も終わりがけ。「パカーン」と口をあけて(開花)いました。リョウブ(令法)が咲き始め甘い匂いが漂っています。コナラの樹液も多く出ていて、アオカナブン?(青金蚕)が蜜を吸っていました。クワガタ類は見つからず。なぜか残念。



コバノトンボソウ



リョウブ開花

この日、「松尾湿原」ではハッチョウトンボの観察会。90匹以上確認できたとか。(TEN blog 参照) ほんとに密度の高い生息場所となっています。

素晴らしい!丸山湿原はというと、密度は低い?とも言えますが広いので…。

こちら雨の中でも多く確認することができました。第3湿原にもいました。定着するのでしょうか?するよな…いやしたんだ!多分。レイシ(靈芝)=マンネンタケもいつもの近くで確認。キノコも神出鬼没で不思議です。知らんことばかりですね。



アオカナブン?(カナブン?)



またまた第3湿原ハッチョウトンボ♂



レイシ(靈芝)

サギソウ開花数調査 調査員募集

2020年8月16日(日)
10:00 湿原入口集合
《定員》 20名(先着順・無料)
《申し込み》

コロナ対策・保険加入の関係上
お名前・ご住所・お電話番号を明記してください
maruyamasagisou@gmail.com
(下取り・合わせ先でも受け付けます)
丸山湿原エコミュージアム推進協議会
〒669-1211 宝塚市大原野字原屋1-1
西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL: 0797-9111788
丸山湿原群保全の会 電話 090-1895-8061(平日)

兵庫県天然記念物
丸山湿原群



参加される方は、動きやすい服装、トレンチングシューズをお持ちください。また、暑さ対策(水分補給、体調管理)は各自で責任をお持ちください。携帯電脳は使えません。お返答には時間がかかります。コロナ対策のため、お申し込みをお断りいたします。突然、体調不良の方はご連絡ください。

次はいよいよサギソウの季節が始まります。年にもよりますが、7月末には開花開始。ということで、コロナにも負けず今年も「サギソウ開花数調査」を実施します。8月16日(日)を予定。今回はチラシ印刷なし。HP・SNSなどでPRを予定しています。受付は前回と同じ。20名限定(保全の会会員は含まず)の募集です。

コロナ対策は「兵庫スタイル」なるもので…アプリも…

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk42/documents/hyogostyle0619.pdf>

ぜひご参加ください。

次回活動日 7月26日(日) 8月8日(土) 調査準備(ライン設置)
8月16日(日) サギソウ開花数調査
8月23日(日)
9月5日(土) ひよっとしたらガイド研修ツアー?もう秋や…稲刈りや!